

ぎふ性暴力被害者支援センターのソーシャルメディア公式アカウント 運用ポリシー

岐阜県は、心身に大きなダメージを受けているにも関わらず、被害に遭ったことを誰にも相談できずにいる性暴力被害者に対し、被害直後から総合的な支援を可能な限り1か所で行うため、「ぎふ性暴力被害者支援センター」を設置しています。被害について相談する事をためらい、独りで抱え込んでしまっている被害者に窓口の存在を知ってもらうため、ソーシャルメディア公式アカウントを開設しました。本ソーシャルメディアでの情報発信及び性暴力被害の相談にあたり、運用ポリシーを以下のとおり定めますので、内容をご確認いただき、同意の上、ご利用ください。

1 基本方針

- ・ 本ソーシャルメディアは、岐阜県子ども・女性部男女共同参画推進課及び「ぎふ性暴力被害者支援センターSNS相談事業」の受託者（以下、運用管理者）が運用します。
※同業務は、（公社）ぎふ犯罪被害者支援センターが受託しています。
- ・ 本ソーシャルメディアでは、性暴力被害者支援に関する情報等を投稿します。
- ・ 本ソーシャルメディアでは、あらかじめ定めた相談日時に性暴力被害の相談に応じます。
- ・ 本ソーシャルメディアに対するすべてのコメント、投稿等を閲覧し、返信するものではありません。
- ・ 投稿記事のイベント情報に対するお問い合わせは、記載されているリンク先等から、イベントの主催者等へ直接お問い合わせください。

2 禁止事項

本ソーシャルメディアをご利用いただく際は、以下の内容の投稿（投稿内容を不特定多数の利用者が閲覧できる状態のものを指します。相談機能を利用した相談時の投稿は、不特定多数の利用者が閲覧できる状態のものではないことから、相談にあたって必要な内容は、本項の規定から除外します。以下同じ。）はご遠慮ください。

なお、投稿内容が以下に該当すると判断した場合は、利用者に断りなく、投稿の一部又は全部を削除することがあります。

- (1) 法令等に違反し、又は違反するおそれがあるもの
- (2) 公の秩序又は善良の風俗に反するもの
- (3) 特定の個人、団体等を誹謗中傷するもの
- (4) 政治又は宗教の活動を目的とするもの

- (5) 広告、宣伝、勧誘、営業活動その他営利を目的とするもの
- (6) 岐阜県又は第三者が保有する著作権、商標権、肖像権その他の知的財産権を侵害するもの
- (7) 本人の承諾なく個人情報を掲載する等プライバシーを害するもの
- (8) 虚偽又は事実と異なるもの
- (9) 有害なプログラムを使用若しくは提供するもの。また、その恐れのあるもの
- (10) わいせつな表現などを含む不適切なもの
- (11) 投稿記事に無関係なもの
- (12) 上記のほか、運用管理者が不適切と判断したもの

3 免責事項

- ・ 運用管理者は、本ソーシャルメディアにおける情報の正確性、完全性、有用性を保証するものではありません。
- ・ 運用管理者は、本ソーシャルメディアにおける情報を利用したために、利用者又は第三者が被った被害について一切の責任を負いません。
- ・ 運用管理者は、本ソーシャルメディアに関連して生じた、利用者間のトラブル又は利用者と第三者との間のトラブルにより利用者又は第三者が被った損害について一切の責任を負いません。
- ・ 運用管理者は、利用者により投稿されたコンテンツやコメントについて、一切責任を負いません。
- ・ 運用管理者は、本ソーシャルメディアに関連する事項によって生じたいかなる損害についても、一切の責任を負いません。
- ・ 運用管理者は、予告なしに、投稿した情報を変更又は削除し、サービスの運用を中断し、又は中止することがあります。

4 知的財産権

本ソーシャルメディアに掲載しているすべての情報（テキスト、画像等）に関する知的財産権は、岐阜県又は原作者に帰属します。また、内容について「私的使用のための複製」や「引用」など著作権法上認められた場合を除き、無断で複製・転用することはできません。

5 運用ポリシーの変更について

本ソーシャルメディアの運用ポリシーは、予告なく変更する場合があります。